使い方・活用法のアイデア

春　菜摘して草餅●プチ水田で泥んこ遊び●タケノコ堀り●地域の人とおこしものづくり●ひなまつり●玉ねぎの苗植え●山菜やしいたけ等を採って天ぷら、そば打ち●子どもも大人も花見をしながら乾杯●5月、グリーンピースで豆ごはん●子ども達がクローバーやレンゲで何かを作る　など

夏　●梅干しづくり●茶摘み●ホタル●七夕●花火●園児と障がいの子で草取り●ナス、トマトピューレでパエリア●親子で星座観察●地域の人とスイカ割り●仮装・肝試し●みんなで協力して流しそうめん●夏祭り（盆踊り）●水遊びや魚つかみどり、釣り●夏みかんジャム作り●ぶどうジュースづくり●冬瓜汁、はそり　など

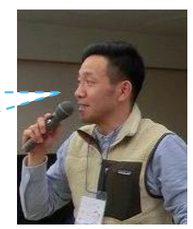
秋　●間引き菜飯おにぎり●野菜の収穫●すすきと団子でお月見●かぼちゃでハロウィンパーティー●かぼちゃでランタン作り●芋掘り●干し芋づくり●大根干し漬物●紅葉狩り●たき火●堆肥作り●シイタケ、ヒラタケ●木に登って秋に柿をとる●収穫をして祭りをして食べる　など

冬　●本物の木に飾って、クリスマスツリー●クリスマスオーナメント作り（松ぼっくりのツリー作り等）●ストーブ用薪割り●12月に大豆小豆まめ、もちつき●切り干し、みそづくり●雪をもらって雪遊び、雪だるま、かまくらづくり●みんなで左議長　など

ALL SEASON　●野菜の苗づくり●季節に合った野菜作り●竹でいろいろ工作●ビオトープ●木登り、ツリーハウスで秘密基地●外部のボランティアと園の子どもで花を作る●1年中みんなでくつろぐひろば●実のなる木、食べられる花・葉で収穫祭！●花・実→染める（作品づくり）●春夏秋にバーベキュー●コンサートなど

竹について、いくつかのグループからアイデアがあったので驚きました。みなさん、竹問題も考えているのですね！ボランティアも入ってお世話できる花壇も、作っていかないと、と思いました。よもぎや自然の植物を植えたいという意見もうれしいです。

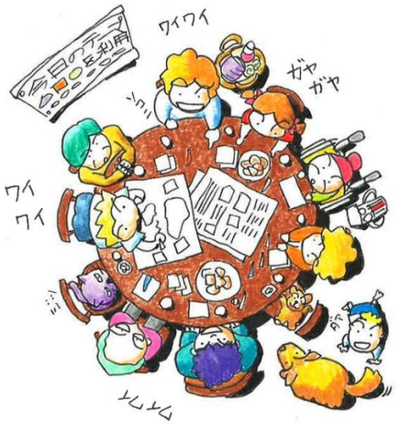
たくさんのアイデアを出していただいたので、どうやってまとめるか、また考えたいと思います！ありがとうございました！


設計チーム道園担当：しんやん

ひとことアンケートより　皆の楽しい「真剣」が集結して、とても有意義な時間でした。各分野のスペシャリストが集まっての話し合いは実のあるものでした／自然や農でこんなに活動や交流のアイデアが広がるのかと改めて気づいた／時間軸、1年、5年、10年で植物がどう成長するか、子どもの成長に合わせた取り組みもできるといいですね　ほか

長久手市役所　子育て支援課施設係
TEL:0561-56-0633（直通）
FAX:0561-63-2100
E-mail: kosodate@nagakute.aichi.jp

今後も継続していきたいと思っています。是非ご参加ください！



～KAMIGO PROJECT OPEN SESSION 2018～

集合！上郷！未来へGO！
みんなde語らって 4

2月28日の木曜日のよる、長久手市役所公民館の3階研修室にて、農村環境改善センターのグランドに整備予定の保育園・児童館・児童発達支援センター・地域交流施設等の複合施設について語り合うイベント「みんなde語らって」の第4回を開催しました。この日の参加者は、市民、職員、設計チームなど含め総勢28名でした。

前半、まずは前回のふりかえりや、設計の進捗状況を確認したあと、4グループに分かれて、地域の庭の使い方のアイデア、木や花などの位置や種類について考え、発表しました！

「地域の庭」の使い方を考えよう！

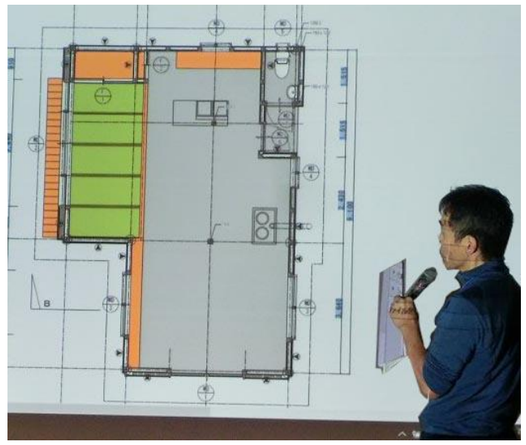
1 あいさつ～設計の進捗状況報告

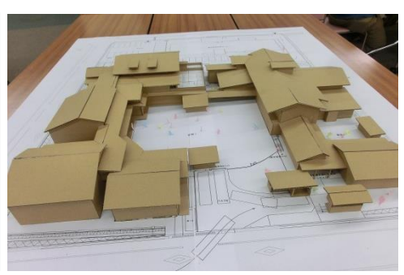
前回の「語らって③」を受けて作成した地域交流棟のプランについて、設計チームから報告がありました。

前回ワークショップでは、グループごとに地域交流スペースの間取りを考えていただきました。どの案も捨てがたく、どれを採用するか悩みましたが、皆さんから出ていたアイデアのエッセンスをできるだけ多く盛り込めるように設計し直しました。

土間を広くとり、皆さんが通る通路から土足のまま入って来れるようになっています。土間にはテーブルを置いたり、アイランドキッチンやかまど設置を検討します。全班が共通して必要だと言っていた畳スペースは5畳。少し広めの畳なので、こたつが2つくらい置けるぐらいの広さです。地域交流棟に入って来た子ども達が、0歳児の庭の方に行ってしまうことのないよう、段差のある畳を設置する工夫をしています。狭い空間なのでトイレは外に出てから入るように配置しました。

建物は長久手にもよくあったお蚕さんを飼っていた蔵のような建物をイメージしています。土壁などは皆さんにも参加してもらって一緒につくっていけたらいいなあと考えています。


設計チーム　オーイ・ジーコ



2 グループワーク「地域の庭　農エリアをつくろう！」

４つのグループに分かれて、「地域の庭」の「農エリア」の使い方のアイデアや、木や花などの位置や種類について考え、発表しました。

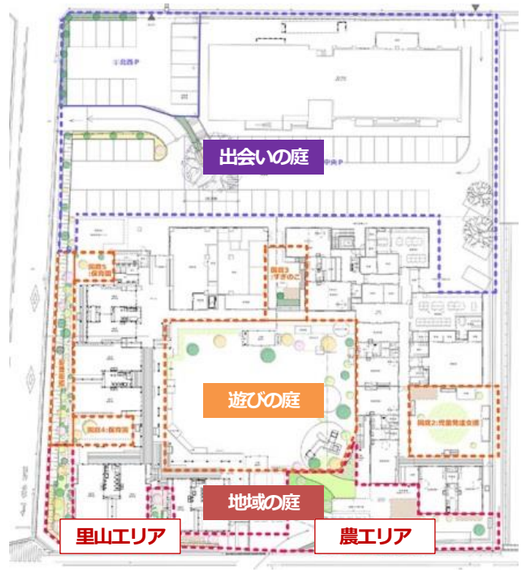
設計チーム道廣担当：しんやん

屋外空間は、以下の３つのゾーンを考えています。

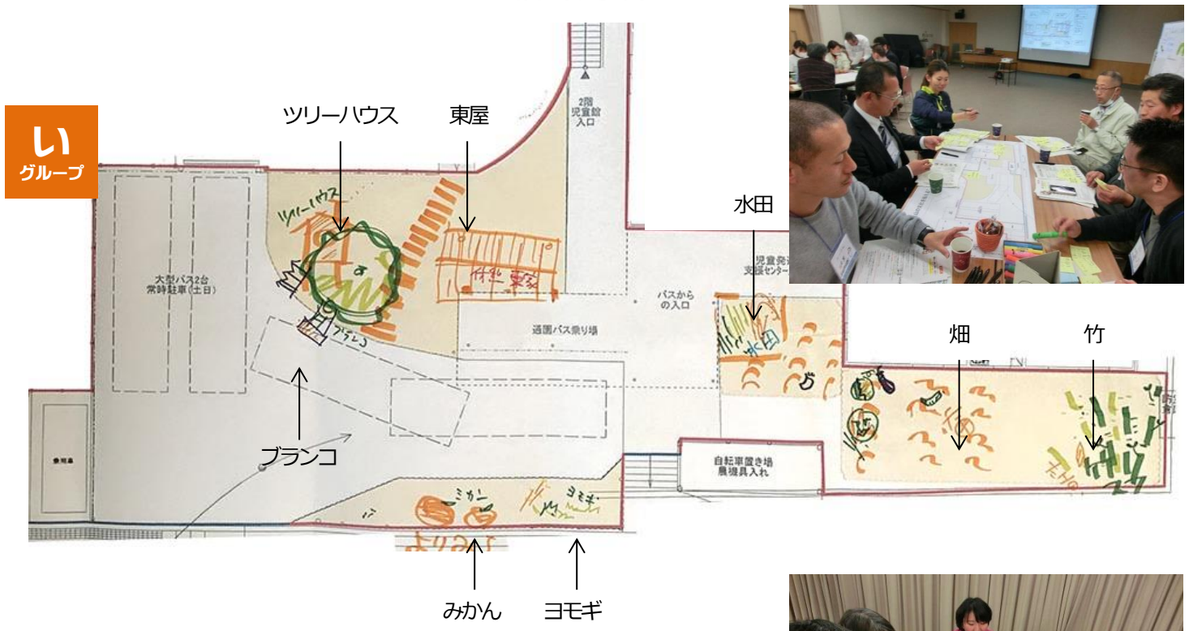
出会いの庭…建物北側の駐車場のあるゾーンは、大きなクスノキを中心とした「出会いの庭」。クスノキの周りには桜を植えます。この桜は、２～４月まで絶え間なく咲くようにいろんな種類のものを植える予定です。その他にも季節感が出せる木や、キンモクセイなど香りのある木などを植えて、送迎時に自然に会話が生まれる場にしたいと思います。ここは各施設を利用する人みんなが使う場なので、少しでも会話が生まれ交流が生まれたらなと思っています。

遊びの庭…真ん中の園庭のあるゾーンは「遊びの庭」。大きな木を中心に、どろんこ遊びができる場所です。芝屋根によって空間の温度が下がり、また芝の水遣りのミストによっても涼しくなるので、子どもが外に出ていきやすくなると思います。冬は温水の手洗い場をと考えています。

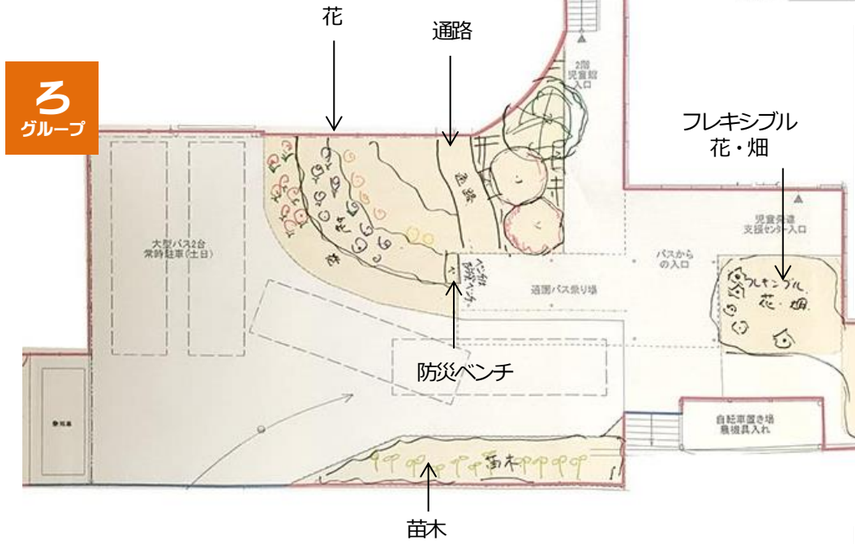
地域の庭…日当りがいい建物南側は「地域の庭」。「里山エリア」と「農エリア」の２つのエリアがあります。「里山エリア」は、日本でも貴重な植物が残る平成こども塾周辺の植物を参考に 40 種類くらいの木を選んで植えたいと思っています。ここに、今育ててもらっているどんぐりの苗も植えます。大きくなった木は薪にしたり工作したりしてみんなで使っていきたいと思います。「農エリア」は、朝夕のバスの送迎時間以外は使えるような運用を考えており、どう使ったらいいのか皆さんで考えていただきたいと思います。30 年、40 年、50 年…と続く「持続可能な仕組み」が考えられたらと思っています。



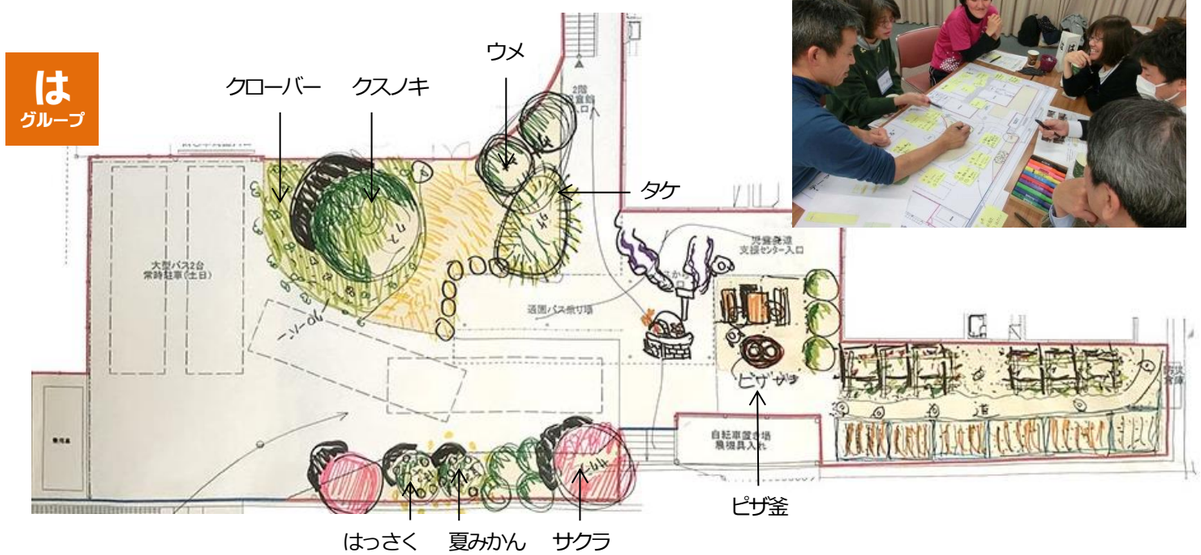
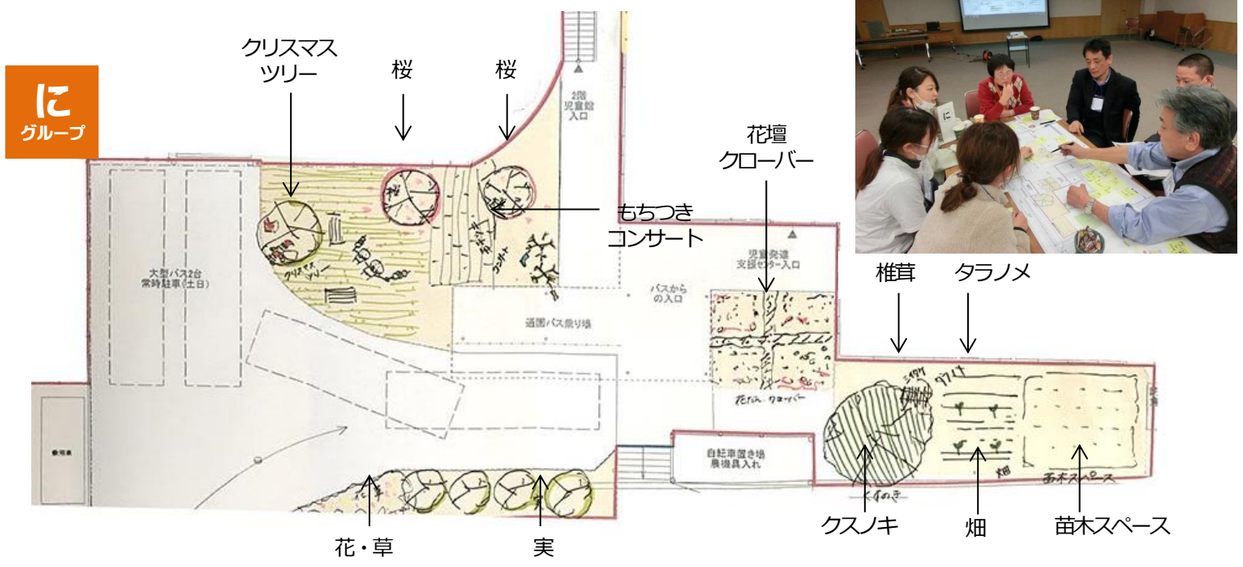
い グループ



ろ グループ



は グループ



に グループ